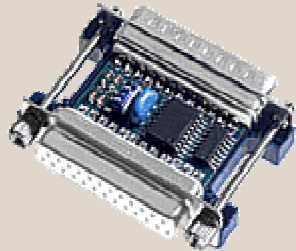


特徴

- RICS プロセッサ
- LPT/USBインターフェース
- Windows, Linux, Mac対応
- オートプロテクト
- 暗号化機能
- セキュリティ機能
- SDK標準添付
- 自由度の高いユーザ設定
- 使い易いAPI
- 安定したドライバ
- 便利なユーティリティ
- オンラインマニュアル

Matrix システム単体で必要なハードウェアやソフトウェアがすべて揃います。



製品紹介



横浜市港南区上大岡西1-12-2 801号

電話 045 (843) 7122
Fax 045 (843) 7142
Email matrix@ribig.co.jp

(有)リビグ

<http://www.ribig.co.jp/matrix/>

Matrix

ソフトウェアプロテクションシステム

ソフトウェアの不正コピーはソフトウェアベンダーにとって頭を悩ます問題です。Matrixは不正コピーを防止するハードロックです。プログラムは、Matrixがコンピュータに接続されているかどうかを確認するコードを実行して、接続していなければ、実行しない、機能を提供しないといった対処を行います。

■ Matrixとコンピュータ間のデータのやり取りは自動的に暗号化されます。

■ Matrixにアクセスするにはユーザ固有のユーザコードが必要です



USBタイプ MLU-60/316

プロテクトを強力なものにするために、次の機能が利用できます。

- メモリー
- 暗号

メモリーにプログラムの実行に必要なデータを格納できます。Matrixにデータを与えて、暗号化させたり、復号化させることができます。

Matrixの機能にアクセスするAPIは使い易く、コードに組み込んだ後の保守も容易です。

プログラムの不正コピー機能を 超えて。。。

Matrixの主な応用分野は、プログラムの不正コピー防止です。このためハードロックとしての機能を、優れたハードウェアとソフトウェアで実現しています。開発者がハードロックを利用する過程で見つけ出した機能が組み込まれているため、不正コピーの応用分野で必要とされる機能の多くを提供します。

EXEファイルをプロテクトするユーティリティを使うと、実行ファイルに手を加えることなくプロテクトできます。これを使うと、SWFフォーマットのプレゼンテーションも、EXEファイルに変換するとプロテクトできるようになります。

また、不正コピー防止に必要な機能は、ユーザ認証にも利用され始めています。不正コピー防止は、実は誰がプログラムを使うかという問題だったのです。このため、既にハードロックにはユーザ認証に関わるアプリケーションで利用できる機能をもっていると考えられます。

応用分野

- プレゼンテーションファイルのプロテクト
- ファイル暗号化/復号化(ユーティリティ付属)
- ログオン認証
- インターネット認証

評価パッケージで、ほぼ全ての機能をお試しできます。評価パッケージのMatrixキーは、正式採用後、製品版と同じものに変更可能です。

インターフェース	LPT/USB
CPU	RISC
ID	- シリアル番号 - ユーザコード
メモリー	60 / 312 bytes
データ持続性	>40年
書き込み/読み込み 寿命サイクル	1,000,000 サイクル保証
同時使用	LPT: 最大99個 USB: 最大127個
通信	コネクタとPC間の通信は暗号化
暗号方式	TEA128ビット鍵
対応OS	DOS/Windows Mac, Linux
付属ソフト	SDK(設定ユーティリティ) API, ドライバ
寸法	LPT: 43 x 54 x 12mm (+5mm) UBS: 55 x 16 x 8mm (+5mm)

さらに詳しい内容と価格についてはWebページをご覧ください

<http://www.ribig.co.jp/matrix/>

お問合せ先

(有)リビグ

横浜市港南区上大岡西1-12-2 801号

電話 045 (843) 7122
Fax 045 (843) 7142
Email matrix@ribig.co.jp